

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	つみき第6		
○保護者評価実施期間	2024年12月20日		2025年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2024年12月20日		2025年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の立案に多くの職員の意見を反映させている事。	活動プログラムが固定化しないよう、1か月単位で活動のサイクルを作成し活動計画を立案しています。	活動プログラムのさらなる充実。 現在利用している子ども達の身体状態・状況の理解度から活動を立案しているが、もう少しバリエーションがあった方が様々な刺激があると思うので、さらに活動のプログラムを充実させていきたい。
2	保護者との共通理解を持ち支援にあたっている事。 年度の変わり目に更新している利用児情報や帰宅送迎時の会話、面談等で得た情報を職員間で共有し、統一した支援を心掛けています。	子育ての悩みに対する相談に適切に応じ、面談や必要な支援を行うよう心掛けています。	保護者会や保護者同士の交流場面の充実。 現在複数の保護者が交流する場面が年に1回の保護者会のみですが、今年度の保護者会が好評だったので交流の機会の需要があると感じました。
3	保護者向け自己評価表の結果から、通所への満足度の高さ。 帰宅時や職員に会った時のお子さんの様子から、つみきを気に入っていると判断して頂けているとの事で、今後も楽しんでいただけるよう様々な活動を提供できればと思っています。	子どもの身体状況・対人関係・学習面の支援について必要な情報を家庭や学校から収集し職員間で共有すること。職員全員が共通の情報や認識で支援にあたるようにしています。	利用者の自己選択の支援。 子どもにより見えやすい距離や提示の仕方、言葉のかけ方などを保護者から聞き実行したり職員間で試行錯誤しています。意思表示が苦手な子や表出手段が少ない子の支援の為、もっと自己選択の支援を充実出来たらと思っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの広さが不十分だと感じる事。	その子に身体状況にあった車椅子を使用しているため大型の車椅子が多い事と、成長に伴い身長が大きくなるため横になるスペースが広範囲必要になる為。	1つで多くの用途のある物品を使用し物品の数を減らしたり、畳めるバギーは畳んで端に立てかけておくことでスペースを広くとるようにします。
2	マニュアル等の周知・説明の徹底。	マニュアルの存在を説明する機会がありません。	保護者会で説明する等、説明の機会をもっと増やします。
3	避難訓練の参加機会が少ない事。	避難訓練の開催が年に2回の為、利用日に重ならなかつたり、実施日にお休みした際に次回参加の機会が随分先になってしまう。	1人1回は避難訓練に参加できるように、避難訓練の開催回数を増やします。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 つみき第6

公表日 2025年 3月 19日

利用児童数 9

回収数 7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1			歩くことが増え、寝ているお友達を踏んでしまわないか心配です。もう少し広いとお嬉しいのですが、部屋の面積はしょうがないと思います。	歩いている時は職員が見守っていたり一緒に歩いているのでご安心ください。お外に行けるタイミングの時にはお散歩に行き、歩きたい欲を満たせればと思っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	2				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	1				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3				
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	3				
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	7				デイでの様子を細かく教えていただけるので、表情やどのように過ごしていたのかを手取るように分かり嬉しいです。	活動やお友達・職員との触れ合いの中で、どのような様子で参加しているのかイメージしやすいようにお話できればと思っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1			先日保護者会へ参加してとても楽しくいろいろなお話が聞けて良かったです。本年開催された保護者会に参加できず残念でしたが、その後プリントに共有されていて本当にありがたかったです。	爽りの多い会になるよう、来年度の保護者会も趣向を凝らして企画したいと思います。お忙しい中恐縮ですが、来年度も多くのご参加をお待ちしています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7				この表情の時はどのような時ですか？等一つ一つ聞いていただけるので、こちらでも伝えやすいです。本人と向き合っているのが良く分かります。	職員間の推測だけでなく、保護者の方にもご意見を聞き答え合わせをすることでより深く本人を理解できるのではと考えています。今後ともよろしく願いいたします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1			利用日数が少ないので、なかなか訓練の日に当たるのは難しいです。	来年度は避難訓練の日数を増やし、全員が避難訓練に参加できるよう日時を設定していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7				職員の方も長い期間同じ方なので安心して預けられます。	勤務期間の長い職員も短い職員も、支援の差が出来ないように情報共有を行っています。安心感を持っていただけ嬉しいです。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7				スタッフの皆さまの事が大好きで、ワガママを言っても受け入れてもらえるのを良く分かっているようです。本人は通所の車が来て職員の方が職員の方の顔を見ると、体一杯で嬉しさを表現して楽しく過ごさせてもらっているのが一目で分かります。いつもありがとうございます。	来所を楽しみに思っていただけ嬉しいです。今後も楽しんでいただけるよう、様々な活動を提供できればと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				入院して医ケアが増え、今後について悩んでいた時、どうしたら悩みが解消できるのかを一緒に考え行動していただき本当に嬉しかったです。いつも連絡帳にびっちり書いていただき様子が分かりやすく安心して通わせることができています。活動内容もとてもこだわっていてこちらも楽しみにしています。	つきも『家族の生活の一部』として一緒の方向を向いて支援にあたればと思っています。不安な事や心配事など、一緒に解決していきましょう。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 3月 19日				
つみき第6						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		たためるバギーはたたんでコンパクトにして置いておくなどして、スペースが少しでも広く使えるようにしている。	学年の大きい利用者さんの多い日や大型の車椅子の台数の多い日は少し狭く感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		普段利用者が使用する出入口の段差にはスロープがあり、階段の上の出入口には災害時用の折り畳みスロープの用意がある。	ロープを設置する際にはテーブルを奥まで移動させる必要があるが、車椅子の台数が多い場合は車椅子を移動させる必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	訓練室内にカーテンで区切れる一角があったり、広めの個室トイレがあるので、着替え等の際にはそこを使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者向け評価表から浮き上がってきた課題や、保護者に伝わっていないと判明した事に関して積極的に改善にあたっている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎月開催されている部会や支援後に職員間で意見交換を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		今年度より導入した。評価結果を積極的に業務改善につなげていきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		法人で機会を設けている研修や都からの研修など、積極的に参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		HPIにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員・利用児の人数が少ないので、職員全員が利用児全員の計画作成にできるだけ参加できるようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			対象が重症心身障害児の為、適切な標準化されたツールが見つかれず、個人シートをメインに保護者の方にお話を聞いている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		週替わりで活動内容の種類を変え、1か月単位で活動のパリエーションが偏らないように気を付けている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			支援と途中から参加した職員には都度支援内容を伝えるようにしているが、伝え忘れがある場合もあるので気を付けている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	就業時間が職員により異なるので、始業ミーティングや必要に応じて連絡事項を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援後に個別支援記録を必ず取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		活動の中で、自己選択ができる場面を設定するよう心がけている。	自己表現が得意でないお子さんの自己選択に、職員の推察が大きくなってしまふ。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		卒業後の施設や保護者の方から情報提供の要望があった際には、提供する準備がある。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	公園や商店街へは行く機会がある。公園では地域の子どもと一緒に遊ぶこともある。	地域の児童館が車椅子での利用が難しく、ほとんど利用できていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	他部署の職員が代表して参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		帰りの送迎を中心に保護者との情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		支援計画を作成するにあたり、必ず保護者の意見を聞く場を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		年に1度は必ず面談を行うようにしており、それ以外でも要望があればいつでも面談や相談への助言を行う準備がある。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者会を年に1回開催している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		つみき新聞で法人の活動の公表を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		鍵付きの引き出しで管理し、個人情報の持ち出しは行っていない。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		毎年度個人記録を最新のものに書き換え、お薬手帳も新しい内容になる度に提出を求め把握している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎年全事業部のヒヤリハットを部内で共有し、注意を促している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		法人の研修に参加し、都が開催する研修にも参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				